

令和 7 年度

事業所番号

1007

さいたま市 環境負荷低減計画

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	1 年間原油換算使用量1,500kℓ以上の事業所 2 大規模小売店舗のうち、店舗面積が5,000㎡以上である事業所
1	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	A G S株式会社 本社（A G Sビル）		
所在地	さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目3番25号		
エネルギー 原油換算使用量（kℓ）	2024(令和6)年度	2023(令和5)年度	2022(令和4)年度
	1,696	1,834	1,798
産業分類名（中分類）	情報サービス業		
分類番号（中分類）	39		
事業活動の概要 (従業員数、敷地面積、 延べ床面積等)	事業内容：情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報処理サービス システム機器販売 従業員：208名 延床面積：7916.13㎡		

2 事業所の環境方針

A G Sグループは、「ITで夢のある社会づくり」を使命とする企業理念のもとに環境保全と事業活動の調和を図り、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。企業理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施する。 1. すべての事業所において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減を推進する。 2. A G Sグループが提供するソリューションや各種商品・サービスを通じて、お客様の環境への負荷軽減に貢献する。 3. 基本方針を達成するため、環境目的・目標を設定し、AGSグループ全社員をあげて環境マネジメントを推進する。 以上

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制

※環境負荷低減主任者を必ず記入すること（氏名の記載は不要）

社 長
|
地球温暖化対策推進者
|
環境負荷低減主任者
|
関 係 部
|
各 事 業 部

4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計 画 期 間		2025(令和7)年度 ～ 2027(令和9)年度		
基 準 年 度 (2013年度から前々年度の間で 任意の年度を設定)		2019年度		
削減目標	目標ベース (必須)	温室効果ガス排出量 (原則こちら)		○
		排出量原単位		●
		活動規模の指標	指標	その他
			基準年度の値	1.662
	温室効果ガス 合計 (必須)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに	1.662 50	t-CO ₂ として、 %を削減する。
	エネルギー起源 CO ₂ (必須)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ /指標として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに	1.6620 50	t-CO ₂ として、 %を削減する。
	非エネルギー 起源CO ₂ (該当する排出が ある場合)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
	その他 温室効果ガス (年間3,000t-CO ₂ 以上排出している 場合)	種類：		
		基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。

5 事業所の温室効果ガス排出量
(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		基準年度	計 前 画 年 提 出 度	計画期間		
		2019年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
CO ₂	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標		2	2	1
		実績	2,296			
	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	目標		0	0	0
		実績	0			
	CO ₂ の 合 計	目標		2	2	1
		実績	2,296			
そ の 他 の 温 室 ガ ス の 効 果	メ タ ン	目標		0	0	0
		実績	0			
	一 酸 化 二 窒 素	目標		0	0	0
		実績	0			
	ハ フ ル オ ロ カ ー ボ ン	目標		0	0	0
		実績	0			
	パ フ ル オ ロ カ ー ボ ン	目標		0	0	0
		実績	0			
	六 フ ッ 化 硫 黄	目標		0	0	0
		実績	0			
	三 フ ッ 化 窒 素	目標		0	0	0
		実績	0			
	そ の 他 の 温 室 効 果 計	目標		0	0	0
		実績	0			
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		目標		2	2	1
		実績	2,296			
基準年度：2019年度比 削減率		目標				
		実績				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

エネルギー起源CO ₂				計 前 画 年 提 出 度	計画期間			
					2024年度		2025年度	2026年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量 原 単 位		単位	目標		1.0388	0.9349		0.8310
			実績	1.0778				
温室効果ガスの合計排出量 原 単 位			目標		1.0388	0.9349		0.8310
			実績	1.0778				
基準年度：2019年度比 削減率			目標		37.5%	43.8%		50.0%
			実績	35.1%				
活動規模の指標	○	生産量	○○ あたり					
	○	出荷額	○○ あたり					
	○	従業員数	○○ あたり					
	○	床面積	○○ あたり					
	●	(UPS) (※自由記載)	t-CO ₂ あたり	2130				

※○○には活動規模の指標となる単語を記入してください。
例： m、t、百万円 など

6 環境負荷の現状

(1)環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

項目	先進的な取組	重点的な取組	全体
達成率(%)	83.3	33.3	58.3

(2)環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

- 二酸化炭素排出量
様式③ー3「5 事業所の温室効果ガス排出量」のとおり

7 具体的な取組の内容

(1)必須項目

二酸化炭素排出量の低減のための取組

- 1. AGSグループの環境分野への取組は以下の通りである。
 - (1) 自然環境活動(植林活動)、埼玉県が支援する「企業の森林づくり」に参加
 - (2) コピー用紙、名刺、封筒などの資材調達において、環境負荷の低いものから優先的に選択
 - (3) 電子帳票化やグループウェアによるワークフロー化を実施し、用紙の削減
 - (4) 省電力タイプの機器への切替や昼休みの一斉消灯などを行い、電気使用量の削減
 - (5) 環境負荷を軽減する製品・サービスの企画・提案・受注活動を積極的に展開
 - (6) お客様のIT資産を高効率なデータセンターへ集約、仮想化やクラウド化を推進し、社会で使用される電力量を削減
 - (7) データセンターの再生可能エネルギー利用率と電力使用効率の向上により、エネルギー資源の効率的利用を促進

基準年度から二酸化炭素排出量が増減した理由

再生可能エネルギー(非FIT非化石証書付電力)を30%の購入とした。購入効果を考慮すると、CO2排出量は2296[t-co2]となる。また原単位では、1.078となる。
再生可能エネルギー利用率は2026年度から50%として取り組んでいる。

8 公表の方法

・場所	さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 AGSビル
・日時	平日09:00~17:00(12月30日、31日を除く)
・連絡先	本社 総務部 電話048-825-6000 当社HP: www.ags.co.jp

9 温室効果ガス排出量の削減率の公表

公表の可否(選択式)	公表可
公表不可の理由	

様式④ 取組チェックシート

【先進的な取組】

×	ZEBの導入	事業所をZEB化（『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented）
○	再エネ設備の導入	事業所に再エネ設備を導入
○	再エネ電力・環境価値の調達	事務所に再エネ電力又は環境価値を調達
○	次世代自動車の導入	次世代自動車（EV、FCV、PHEV、HV等）の導入
○	BEMS・FEMS等の導入	エネルギー管理のための設備（BEMS、FEMS等）の導入
○	気候変動イニシアティブへの参加	気候変動イニシアティブ（CDP、再エネ100宣言ReAction、SBT等）への参加

チェック欄数：6

達成率（%）

83

【重点的な取組】

×	2050年目標の設定	2050年までにカーボンニュートラルを目指す目標の設定
×	SC全体でのCO ₂ 削減	サプライチェーン（SC）全体でのCO ₂ 削減に向けた体制の構築の有無
×	省エネ診断の受診	過去5年間で省エネ診断を受診し、設備の適正使用・計画的な更新の実施
○	従業員への環境教育	事業所内の従業員への環境教育の実施
×	自動車の適正使用	エコドライブの実践、適正な走行ルート、カーシェア利用などの実施
○	空調機の適正使用	室内温度の適正管理、定期的なフィルター清掃の実施

チェック欄数：6

達成率（%）

33

※事業所に計画がある場合には、根拠資料の提出を求めることがあります。

様式⑤－1負荷チェックシート エネルギー起源CO₂排出量

種類				使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数		CO ₂ 排出量	
				数値	単位	単位	GJ	0.0258	kL	単位	t-CO ₂		
化石燃料	原油（コンデンセートを除く）				kL	38.3	GJ/kL			0.0190	t-C/GJ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）				kL	34.8	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ		
	揮発油（ガソリン）				kL	33.4	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
	ナフ				kL	33.3	GJ/kL			0.0186	t-C/GJ		
	ジェット燃料油				kL	36.3	GJ/kL			0.0186	t-C/GJ		
	灯油				kL	36.5	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
	軽油				kL	38.0	GJ/kL			0.0188	t-C/GJ		
	A重油			1	kL	38.9	GJ/kL	39	1	0.0193	t-C/GJ	3	
	B・C重油				kL	41.8	GJ/kL			0.0202	t-C/GJ		
	石油アスファルト				t	40.0	GJ/t			0.0204	t-C/GJ		
	石油コークス				t	34.1	GJ/t			0.0245	t-C/GJ		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）				t	50.1	GJ/t			0.0163	t-C/GJ	
		石油系炭化水素ガス				千m ³	46.1	GJ/千m ³			0.0144	t-C/GJ	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）				t	54.7	GJ/t			0.0139	t-C/GJ	
		その他可燃性天然ガス				千m ³	38.4	GJ/千m ³			0.0139	t-C/GJ	
	石炭	輸入原料炭				t	28.7	GJ/t	0.0258		0.0246	t-C/GJ	
		コークス用原料炭				t	28.9	GJ/t			0.0245	t-C/GJ	
		吹込用原料炭				t	28.3	GJ/t			0.0251	t-C/GJ	
		輸入一般炭				t	26.1	GJ/t			0.0243	t-C/GJ	
		国産一般炭				t	24.2	GJ/t			0.0242	t-C/GJ	
		輸入無煙炭				t	27.8	GJ/t			0.0259	t-C/GJ	
	石炭コークス				t	29.0	GJ/t			0.0299	t-C/GJ		
	コールタール				t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ		
	コークス炉ガス				千m ³	18.4	GJ/千m ³			0.0109	t-C/GJ		
	高炉ガス				千m ³	3.23	GJ/千m ³			0.0264	t-C/GJ		
	発電用高炉ガス				千m ³	3.45	GJ/千m ³			0.0264	t-C/GJ		
	転炉ガス				千m ³	7.53	GJ/千m ³			0.0420	t-C/GJ		
	その他	都市ガス	東京ガスメニューB(残差)		千m ³	40.0	GJ/千m ³			2.05	t-CO ₂ /千m ³		
			()		千m ³	40.0	GJ/千m ³				t-CO ₂ /千m ³		
		()					GJ/						
		()					GJ/						
非化石燃料	黒液				t	13.6	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	木材				t	13.2	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	木質廃材				t	17.1	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	バイオエタノール				kL	23.4	GJ/kL			0.0000	t-C/GJ		
	バイオディーゼル				kL	35.6	GJ/kL			0.0000	t-C/GJ		
	バイオガス				千m ³	21.2	GJ/千m ³			0.0000	t-C/GJ		
	その他のバイオマス				t	13.2	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	ごみ固形燃料（RDF）				t	18.0	GJ/ t			0.0162	t-C/GJ		
	ごみ固形燃料（RPF）				t	26.9	GJ/ t			0.0166	t-C/GJ		
	廃タイヤ				t	33.2	GJ/ t			0.0135	t-C/GJ		
	廃プラスチック				t	29.3	GJ/ t			0.0239	t-C/GJ		
	廃油				kL	40.2	GJ/kL			0.0179	t-C/GJ		
	廃棄物ガス				千m ³	21.2	GJ/千m ³			0.0000	t-C/GJ		
	混合廃材				t	17.1	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	水素				t	142	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
	アンモニア				t	22.5	GJ/ t			0.0000	t-C/GJ		
熱	その他	()					GJ/						
		()					GJ/						
	他者から購入した熱	産業用蒸気					GJ	1.17	GJ/GJ		0.0654	t-CO ₂ /GJ	
			()				GJ	1.17	GJ/GJ			t-CO ₂ /GJ	
		産業用以外の蒸気					GJ	1.19	GJ/GJ		0.0532	t-CO ₂ /GJ	
			()				GJ	1.19	GJ/GJ			t-CO ₂ /GJ	
		温水					GJ	1.19	GJ/GJ		0.0532	t-CO ₂ /GJ	
			()				GJ	1.19	GJ/GJ			t-CO ₂ /GJ	
		冷水					GJ	1.19	GJ/GJ		0.0532	t-CO ₂ /GJ	
			()				GJ	1.19	GJ/GJ			t-CO ₂ /GJ	
その他						GJ	1.19	GJ/GJ	0.0258	0.0532	t-CO ₂ /GJ		
()						GJ	1.19	GJ/GJ			t-CO ₂ /GJ		

種類					使用量		単位当たり発熱量		熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数		CO ₂ 排出量
					数値	単位	単位		GJ	0.0258	kL	単位		t-CO ₂
電気	その他使用した熱	地	熱		GJ	1.19	GJ/GJ	0.0258			0.0000	t-CO ₂ /GJ		
		温	泉	熱		GJ	1.19		GJ/GJ			0.0000	t-CO ₂ /GJ	
		太	陽	熱		GJ	1.19		GJ/GJ			0.0000	t-CO ₂ /GJ	
		雪	氷	熱		GJ	1.19		GJ/GJ			0.0000	t-CO ₂ /GJ	
		その他	()		GJ		GJ/GJ							
			()		GJ		GJ/GJ							
	か電 らの 買 電 者	東京電力エナジーパートナーメニューN（残差）		7,601	千kWh	8.64	GJ/千kWh	65,673		1,694	0.431	t-CO ₂ /千kWh	3,276	
		()			千kWh	8.64	GJ/千kWh				0.431	t-CO ₂ /千kWh		
		()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		オ フ サ イ ト 型 P P A			千kWh	3.60	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		自己託送（非燃料由来の非化石電気）			千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
		上記以外の自己託送（化石燃料）()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		上記以外の自己託送（非化石燃料）()			千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
		その他（化石燃料）()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		その他（非化石燃料）()			千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
		自家発電	太	陽	光	4	千kWh	3.60	GJ/千kWh	14	0	0.0000	t-CO ₂ /千kWh	
			風		力		千kWh	3.60	GJ/千kWh			0.0000	t-CO ₂ /千kWh	
			地		熱		千kWh	3.60	GJ/千kWh			0.0000	t-CO ₂ /千kWh	
			水		力		千kWh	3.60	GJ/千kWh			0.0000	t-CO ₂ /千kWh	
			その他（非燃料由来の非化石電気）	()		千kWh	3.60	GJ/千kWh		0.0000		t-CO ₂ /千kWh		
				()		千kWh	3.60	GJ/千kWh		0.0000		t-CO ₂ /千kWh		
			その他（燃料）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh				t-CO ₂ /千kWh		
				()		千kWh	8.64	GJ/千kWh				t-CO ₂ /千kWh		
		その他（熱）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh			t-CO ₂ /千kWh				
			()		千kWh	8.64	GJ/千kWh			t-CO ₂ /千kWh				
	外部供給	自 ら 生 成 し た 熱 の 供 給			GJ							t-CO ₂ /GJ		
		自 ら 生 成 し た 電 力 の 供 給			千kWh							t-CO ₂ /千kWh		
	高効率コージェネレーションシステムからの電気及び熱の受入による削減量													
	合計							65,726	0.0258	1,696			3,279	

クレジットの購入等の記入	
種類(選択式)	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
非FIT非化石証書(再エネ指定)	983

クレジットの購入等考慮後
原油換算使用量(kL)

1695.729252

クレジットの購入等考慮後
CO₂排出量(t-CO₂)

2,296

様式⑤－２ 負荷チェックシート 非エネルギー起源CO₂排出量及びその他温室効果ガス排出量

種類			使用量		排出係数（その他温室効果ガス欄は地球温暖化係数）	CO ₂ 排出量	
			数値	単位			単位
非エネルギー起源CO ₂	セメント製造			t	0.515	t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰		t	0.428	t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.449	t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.440	t-CO ₂ /t	
		ドロマイト		t	0.471	t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造			t	1		
	ソーダ灰の使用			t	0.413	t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭		t	2.33	t-CO ₂ /t	
		石油コークス		t	3.06	t-CO ₂ /t	
		ナフサ		kL	2.27	t-CO ₂ /kL	
		液化天然ガス（LNG）		t	2.79	t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千m ³	1.96	t-CO ₂ /千m ³	
	エチレンの製造			t	1.56	t-CO ₂ /t	
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用			t	3.38	t-CO ₂ /t	
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量			t	1			
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量			t	1			
小計							
その他温室効果ガス	メタン			t-CH ₄	28	t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	265	t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン			t-		t-CO ₂ /t-	
				t-		t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン			t-		t-CO ₂ /t-	
				t-		t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄			t-SF ₆	23,500	t-CO ₂ /t-SF ₆	
	三フッ化窒素			t-NF ₃	16,100	t-CO ₂ /t-NF ₃	
	小計						
合計							

令和 7 年度

事業所番号

1006

さいたま市 環境負荷低減計画

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	1 年間原油換算使用量1,500kℓ以上の事業所 2 大規模小売店舗のうち、店舗面積が5,000㎡以上である事業所
1	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	A G S株式会社 本社（さくら浦和ビル）		
所在地	さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目2番11号		
エネルギー 原油換算使用量（kℓ）	2024(令和6)年度	2023(令和5)年度	2022(令和4)年度
	1,450	1,721	1,770
産業分類名（中分類）	情報サービス業		
分類番号（中分類）	39		
事業活動の概要 (従業員数、敷地面積、 延べ床面積等)	事業内容：情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報処理サービス システム機器販売 従業員：1026名 延床面積：14063.83㎡		

2 事業所の環境方針

A G Sグループは、「ITで夢のある社会づくり」を使命とする企業理念のもとに環境保全と事業活動の調和を図り、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。企業理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施する。 1. すべての事業所において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減を推進する。 2. A G Sグループが提供するソリューションや各種商品・サービスを通じて、お客様の環境への負荷軽減に貢献する。 3. 基本方針を達成するため、環境目的・目標を設定し、AGSグループ全社員をあげて環境マネジメントを推進する。 以上

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制

※環境負荷低減主任者を必ず記入すること（氏名の記載は不要）

社 長
|
地球温暖化対策推進者
|
環境負荷低減主任者
|
関 係 部
|
各 事 業 部

4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計 画 期 間		2025(令和7)年度 ～ 2027(令和9)年度		
基 準 年 度 (2013年度から前々年度の間で 任意の年度を設定)		2019年度		
削減目標	目標ベース (必須)	温室効果ガス排出量 (原則こちら)		○
		排出量原単位		●
		活動規模の指標	指標	その他
			基準年度の値	1.892
	温室効果ガス 合計 (必須)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに	1.892	t-CO ₂ として、 9%を削減する。
	エネルギー起源 CO ₂ (必須)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ /指標として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに	1.8920	t-CO ₂ として、 9%を削減する。
	非エネルギー 起源CO ₂ (該当する排出が ある場合)	基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
	その他 温室効果ガス (年間3,000t-CO ₂ 以上排出している 場合)	種類：		
		基準排出量： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。
		基準排出量原単位： 2027年度までに		t-CO ₂ として、 %を削減する。

5 事業所の温室効果ガス排出量
(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		基準年度	計画提出年度	計画期間		
		2019年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
CO ₂	エネルギー起源 CO ₂	目標		3	3	3
		実績	2,832			
	非エネルギー起源 CO ₂	目標		0	0	0
		実績	0			
	CO ₂ の 合 計	目標		3	3	3
		実績	2,832			
その他の温室効果ガス	メタン	目標		0	0	0
		実績	0			
	一酸化二窒素	目標		0	0	0
		実績	0			
	ハフルオロカーボン	目標		0	0	0
		実績	0			
	パフルオロカーボン	目標		0	0	0
		実績	0			
	六フッ化硫黄	目標		0	0	0
		実績	0			
	三フッ化窒素	目標		0	0	0
		実績	0			
	その他の温室効果ガス	目標		0	0	0
		実績	0			
温室効果ガスの合計		目標		3	3	3
		実績	2,832			
基準年度：2019年度比 削減率		目標				
		実績				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

エネルギー起源CO ₂				計 前	画 年	提 出 度	計画期間		
				2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	
エネルギー起源CO ₂ 排出量 原 単 位		単位	目標			1.7643	1.7430	1.7217	
			実績	2.0003					
温室効果ガスの合計排出量 原 単 位			目標			1.7643	1.7430	1.7217	
			実績	2.0003					
基準年度：2019年度比 削減率			目標			6.8%	7.9%	9.0%	
			実績	+5.7%					
活動規模の指標		○	生産量	○○	あたり				
		○	出荷額	○○	あたり				
		○	従業員数	○○	あたり				
		○	床面積	○○	あたり				
		●	(CVCF) (※自由記載)	t-CO ₂	あたり	1415.8			

※○○には活動規模の指標となる単語を記入してください。
例： m、t、百万円 など

6 環境負荷の現状

(1)環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

項目	先進的な取組	重点的な取組	全体
達成率(%)	25.0	33.3	30.0

(2)環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

- 二酸化炭素排出量
様式③ー3「5 事業所の温室効果ガス排出量」のとお

7 具体的な取組の内容

(1)必須項目

二酸化炭素排出量の低減のための取組

1. AGSグループの環境分野への取組は以下の通りである。
- (1) 自然環境活動(植林活動)、埼玉県が支援する「企業の森林づくり」に参加
 - (2) コピー用紙、名刺、封筒などの資材調達において、環境負荷の低いものから優先的に選択
 - (3) 電子帳票化やグループウェアによるワークフロー化を実施し、用紙の削減
 - (4) 省電力タイプの機器への切替や昼休みの一斉消灯などを行い、電気使用量の削減
 - (5) 環境負荷を軽減する製品・サービスの企画・提案・受注活動を積極的に展開
 - (6) お客様のIT資産を高効率なデータセンターへ集約、仮想化やクラウド化を推進し、社会で使用される電力量を削減
 - (7) データセンターの再生可能エネルギー利用率と電力使用効率の向上により、エネルギー資源の効率的利用を促進

基準年度から二酸化炭素排出量が増減した理由

- ・DC顧客の減少に伴い、サーバー機器等で使用する電力量が減少したため。

8 公表の方法

・場所	さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 AGSビル
・日時	平日09:00～17:00(12月30日、31日を除く)
・連絡先	本社 総務部 電話048-825-6000 当社HP: www.ags.co.jp

9 温室効果ガス排出量の削減率の公表

公表の可否(選択式) 公表可

公表不可の理由

様式④ 取組チェックシート

【先進的な取組】

×	ZEBの導入	事業所をZEB化（『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented）
—	再エネ設備の導入	事業所に再エネ設備を導入
×	再エネ電力・環境価値の調達	事務所に再エネ電力又は環境価値を調達
×	次世代自動車の導入	次世代自動車（EV、FCV、PHEV、HV等）の導入
—	BEMS・FEMS等の導入	エネルギー管理のための設備（BEMS、FEMS等）の導入
○	気候変動イニシアティブへの参加	気候変動イニシアティブ（CDP、再エネ100宣言ReAction、SBT等）への参加

チェック欄数：6

達成率（%）
25

【重点的な取組】

×	2050年目標の設定	2050年までにカーボンニュートラルを目指す目標の設定
×	SC全体でのCO ₂ 削減	サプライチェーン（SC）全体でのCO ₂ 削減に向けた体制の構築の有無
×	省エネ診断の受診	過去5年間で省エネ診断を受診し、設備の適正使用・計画的な更新の実施
○	従業員への環境教育	事業所内の従業員への環境教育の実施
×	自動車の適正使用	エコドライブの実践、適正な走行ルート、カーシェア利用などの実施
○	空調機の適正使用	室内温度の適正管理、定期的なフィルター清掃の実施

チェック欄数：6

達成率（%）
33

※事業所に計画がある場合には、根拠資料の提出を求めることがあります。

様式⑤－1負荷チェックシート エネルギー起源CO₂排出量

種類				使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数		CO ₂ 排出量		
				数値	単位	単位	GJ	0.0258	kL	単位	t-CO ₂			
化石燃料	原油（コンデンセートを除く）				kL	38.3	GJ/kL		0.0258		0.0190	t-C/GJ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）				kL	34.8	GJ/kL				0.0183	t-C/GJ		
	揮発油（ガソリン）			5	kL	33.4	GJ/kL	167		4	0.0187	t-C/GJ	11	
	ナフ				kL	33.3	GJ/kL				0.0186	t-C/GJ		
	ジェット燃料油				kL	36.3	GJ/kL				0.0186	t-C/GJ		
	灯油			33	kL	36.5	GJ/kL	1,205		31	0.0187	t-C/GJ	83	
	軽油				kL	38.0	GJ/kL				0.0188	t-C/GJ		
	A重油				kL	38.9	GJ/kL				0.0193	t-C/GJ		
	B・C重油				kL	41.8	GJ/kL				0.0202	t-C/GJ		
	石油アスファルト				t	40.0	GJ/t				0.0204	t-C/GJ		
	石油コークス				t	34.1	GJ/t				0.0245	t-C/GJ		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）				t	50.1	GJ/t				0.0163	t-C/GJ	
		石油系炭化水素ガス				千m ³	46.1	GJ/千m ³				0.0144	t-C/GJ	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）				t	54.7	GJ/t				0.0139	t-C/GJ	
		その他可燃性天然ガス				千m ³	38.4	GJ/千m ³				0.0139	t-C/GJ	
	石炭	輸入原料炭				t	28.7	GJ/t				0.0246	t-C/GJ	
		コークス用原料炭				t	28.9	GJ/t				0.0245	t-C/GJ	
		吹込用原料炭				t	28.3	GJ/t				0.0251	t-C/GJ	
		輸入一般炭				t	26.1	GJ/t				0.0243	t-C/GJ	
		国産一般炭				t	24.2	GJ/t				0.0242	t-C/GJ	
		輸入無煙炭				t	27.8	GJ/t				0.0259	t-C/GJ	
	石炭コークス				t	29.0	GJ/t				0.0299	t-C/GJ		
	コールタール				t	37.3	GJ/t				0.0209	t-C/GJ		
	コークス炉ガス				千m ³	18.4	GJ/千m ³				0.0109	t-C/GJ		
	高炉ガス				千m ³	3.23	GJ/千m ³				0.0264	t-C/GJ		
	発電用高炉ガス				千m ³	3.45	GJ/千m ³				0.0264	t-C/GJ		
	転炉ガス				千m ³	7.53	GJ/千m ³				0.0420	t-C/GJ		
	その他	都市ガス	東京ガスメニューB(残差)	37	千m ³	40.0	GJ/千m ³	1,480	38	2.05	t-CO ₂ /千m ³	76		
			()		千m ³	40.0	GJ/千m ³			t-CO ₂ /千m ³				
		()					GJ/							
		()					GJ/							
非化石燃料	黒液				t	13.6	GJ/ t		0.0258		0.0000	t-C/GJ		
	木材				t	13.2	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	木質廃材				t	17.1	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	バイオエタノール				kL	23.4	GJ/kL				0.0000	t-C/GJ		
	バイオディーゼル				kL	35.6	GJ/kL				0.0000	t-C/GJ		
	バイオガス				千m ³	21.2	GJ/千m ³				0.0000	t-C/GJ		
	その他のバイオマス				t	13.2	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	ごみ固形燃料（RDF）				t	18.0	GJ/ t				0.0162	t-C/GJ		
	ごみ固形燃料（RPF）				t	26.9	GJ/ t				0.0166	t-C/GJ		
	廃タイヤ				t	33.2	GJ/ t				0.0135	t-C/GJ		
	廃プラスチック				t	29.3	GJ/ t				0.0239	t-C/GJ		
	廃油				kL	40.2	GJ/kL				0.0179	t-C/GJ		
	廃棄物ガス				千m ³	21.2	GJ/千m ³				0.0000	t-C/GJ		
	混合廃材				t	17.1	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	水素				t	142	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	アンモニア				t	22.5	GJ/ t				0.0000	t-C/GJ		
	その他			()			GJ/							
	()						GJ/							
熱	他者から購入した熱	産業用蒸気		GJ	1.17	GJ/GJ		0.0258		0.0654	t-CO ₂ /GJ			
			()	GJ	1.17	GJ/GJ				t-CO ₂ /GJ				
		産業用以外の蒸気		GJ	1.19	GJ/GJ				0.0532	t-CO ₂ /GJ			
			()	GJ	1.19	GJ/GJ				t-CO ₂ /GJ				
		温水		GJ	1.19	GJ/GJ				0.0532	t-CO ₂ /GJ			
			()	GJ	1.19	GJ/GJ				t-CO ₂ /GJ				
		冷水		GJ	1.19	GJ/GJ				0.0532	t-CO ₂ /GJ			
			()	GJ	1.19	GJ/GJ				t-CO ₂ /GJ				
		その他		GJ	1.19	GJ/GJ				0.0532	t-CO ₂ /GJ			
			()	GJ	1.19	GJ/GJ				t-CO ₂ /GJ				

種類					使用量		単位当たり発熱量		熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数		CO ₂ 排出量	
					数値	単位	単位		GJ	0.0258	kL	単位		t-CO ₂	
電気	その他使用した熱	地	熱		GJ	1.19	GJ/GJ		0.0258		0.0000	t-CO ₂ /GJ			
		温	泉	熱	GJ	1.19	GJ/GJ				0.0000	t-CO ₂ /GJ			
		太	陽	熱	GJ	1.19	GJ/GJ				0.0000	t-CO ₂ /GJ			
		雪	氷	熱	GJ	1.19	GJ/GJ				0.0000	t-CO ₂ /GJ			
		その他	()		GJ		GJ/GJ								
			()		GJ		GJ/GJ								
	電 気	か電 らの 事 業 者	東京電力エナジーパートナー	メニューN（残差）	6,177	千kWh	8.64	GJ/千kWh	53,365	0.0258	1,377	0.431	t-CO ₂ /千kWh	2,662	
			()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
			()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
			()			千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
		上 記 以 外 の 買 電	オ フ サ イ ト 型 P P A			千kWh	3.60	GJ/千kWh						t-CO ₂ /千kWh	
			自己託送（非燃料由来の非化石電気）			千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			上記以外の自己託送（化石燃料）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
			上記以外の自己託送（非化石燃料）	()		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			その他（化石燃料）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
			その他（非化石燃料）	()		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
		自 家 発 電	太 陽	光		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			風	力		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			地	熱		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			水	力		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			その他（非燃料由来 の非化石電気）	()		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
				()		千kWh	3.60	GJ/千kWh				0.0000	t-CO ₂ /千kWh		
			その他（燃料）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
				()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
			その他（熱）	()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
				()		千kWh	8.64	GJ/千kWh					t-CO ₂ /千kWh		
	外部 供給	自 ら 生 成 し た 熱 の 供 給		GJ								t-CO ₂ /GJ			
		自 ら 生 成 し た 電 力 の 供 給		千kWh								t-CO ₂ /千kWh			
高効率コージェネレーションシステムからの電気及び熱の受入による削減量															
合計								56,216	0.0258	1,450			2,832		

クレジットの購入等の記入

種類(選択式)	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)

クレジットの購入等考慮後
原油換算使用量(kL)

1450.382945

クレジットの購入等考慮後
CO₂排出量(t-CO₂)

2,832

様式⑤－２ 負荷チェックシート 非エネルギー起源CO₂排出量及びその他温室効果ガス排出量

種類			使用量		排出係数（その他温室効果ガス欄は地球温暖化係数）	CO ₂ 排出量
			数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	セメント製造			t	0.515	t-CO ₂ /t
	生石灰の製造	石灰		t	0.428	t-CO ₂ /t
		ドロマイト		t	0.449	t-CO ₂ /t
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰		t	0.440	t-CO ₂ /t
		ドロマイト		t	0.471	t-CO ₂ /t
	ソーダ灰の製造			t	1	
	ソーダ灰の使用			t	0.413	t-CO ₂ /t
	アンモニアの製造	石炭		t	2.33	t-CO ₂ /t
		石油コークス		t	3.06	t-CO ₂ /t
		ナフサ		kL	2.27	t-CO ₂ /kL
		液化天然ガス（LNG）		t	2.79	t-CO ₂ /t
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千m ³	1.96	t-CO ₂ /千m ³
	エチレンの製造			t	1.56	t-CO ₂ /t
	カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用			t	3.38	t-CO ₂ /t
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量			t	1	
	噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量			t	1	
	小計					
その他温室効果ガス	メタン			t-CH ₄	28	t-CO ₂ /t-CH ₄
	一酸化二窒素			t-N ₂ O	265	t-CO ₂ /t-N ₂ O
	ハイドロフルオロカーボン			t-		t-CO ₂ /t-
				t-		t-CO ₂ /t-
	パーフルオロカーボン			t-		t-CO ₂ /t-
				t-		t-CO ₂ /t-
	六フッ化硫黄			t-SF ₆	23,500	t-CO ₂ /t-SF ₆
	三フッ化窒素			t-NF ₃	16,100	t-CO ₂ /t-NF ₃
小計						
合計						